

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成29年度第1回高松市創造都市推進審議会
開催日時	平成29年7月23日(日) 13:30~15:15
開催場所	瓦町FLAG8階 IKODE瓦町 多目的スタジオ
議 題	(1) 次期ビジョン骨子案について (2) 成果指標案の検討について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	佐々木会長、中副会長、佃委員、西成委員、大久保委員、三井委員、小池委員、中西委員、橋本委員、香西委員、小林委員、山家委員、井本委員、山崎委員、渡邊委員
事務局	土岐創造都市推進局長、佐藤創造都市推進局参事、長井創造都市推進局参事、橋本経済産業部長、楠競輪場長、永正中央卸売市場長、増野立地・創業・イノベーション支援室長、岡崎農林水産課長、三宅土地改良課長、池田地籍調査室長、米井施設整備室長、諏訪観光交流課長、里石主幹兼都市交流室長、一原文化芸術振興課長、次田文化財課長、横山スポーツ振興課長補佐、合田美術館美術課長、佐野産業振興課長補佐、溝渕産業振興課長補佐、塩田産業振興課係長、松下産業振興課主事
傍聴者	0人 (定員 10人)
担当課および連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411

審議経過及び審議結果

1 開会

2 議題(1) 次期ビジョン骨子案について

(事務局から資料説明)

【会長】

それでは委員の皆さんから御意見をいただきたいと思う。

【副会長】

県との協力関係を記載を検討してほしい。

【事務局】

括弧書き等の分かりやすい記載とする。

## 審議経過及び審議結果

### 【会長】

香川県もCCNJ（創造都市ネットワーク日本）に加盟しているのなら、もう少し意識的な記載をしてはどうか。

### 【委員】

ユネスコの加盟申請は、どの分野を目指し、どのように取り組むのか。

### 【事務局】

本市には本当に色々な創造的資源があるので、その資源を生かして、創造都市を進めていきたいと考えている。その一つの方策としてユネスコ加盟申請を検討しており、分野については現在模索中である。

### 【会長】

国内のユネスコ加盟都市7つのうち、6つの都市のアドバイスをしたが、加盟申請のための委員会を起し、討論をしながら分野を絞るというプロセスが一番良いのではないか。出来るだけ、民間からの盛り上がり、市長のリーダーシップがタッグを組めるように。また、申請書の中に推進委員会についても求められる。

### 【委員】

世界国際音楽連盟の総会に出席した際にも、ユネスコなど、どこに所属しているのかが重要に感じた。どの都市もアートを前提に、何かの分野になっていくのではないか。

### 【会長】

ユネスコの創造都市総会では、加盟分野やジャンルを超えた交流が行われている。認定分野を中心にも他分野にも力を入れる必要がある。

### 【委員】

創造都市を推進することの狙いや目的を記載してほしい。

### 【会長】

創造都市の推進によって文化多様性を高める、都市を元気にするという目標がある。国外・国内・市内の3つのレベルで目標を明らかに出来れば良いと思う。

### 【委員】

文化多様性については非常に勉強になる。高松の独自性について、今後議論をしていきたい。

### 【委員】

この審議会では現場論があまり言われぬ。市は民間の活動も含め、どれだけ把握できているのか。

【会長】

現状認識の話は前回も出たが、事業の進展状況について共有できるものがあれば、議論が具体的になると思う。

【委員】

4回目の瀬戸内国際芸術祭では、伝統工芸品など産業になっている人などをフューチャーする動きがある。香川県には、金子知事が蒔いた種が多くあり、50年も前に県展にデザイン部門があるほどである。

【委員】

高松らしい創造都市のイメージが分かりにくい。より具体性を持って、市民に分かりやすい内容とすべきである。

【会長】

事務局は、そういった要素を取り入れ、市民に伝える方法も検討してください。

【委員】

「創造都市」という言葉の認知度を成果指標にしたらどうか。

【委員】

イベントの来客数で創造都市の推進を測れるのか疑問である。トライアスロン等でアンケートをとってみてはどうか。

【会長】

議題（2）についての御意見が出てきているので、議題（1）について他に御意見がなければ、次の議題に進みたい。

### 3 議題（2）成果指標案の検討について

（事務局から資料説明）

【委員】

男木島と仏生山を選択したのはなぜか。

【事務局】

前回会議と移住者が多いという観点から選定している。経緯についてビジョンの中に登載したい。

【会長】

出し方に工夫が必要である。全体からスポットに焦点を当てると伝えやすくなる。

【委員】

高松市の改善点等の意見はあるのか。

【会長】

おっしゃるとおりだが、行政だけでは厳しく、第三者委員がやるべきか。

【事務局】

市民満足度調査の結果が、満足までに至っていないものについては、個々具体に取り組んでいきたい。創造都市の浸透性についても課題であるが、その対応策の一つとしてユネスコ加盟申請があると考えている。

【委員】

多核連携型コンパクト・エコシティと、創造都市を進めた際の高松市の姿と重なるのか。

【会長】

その他の計画との連関は大事である。高松市全体の将来像は総合計画だが、ビジョンの中の6つの条例・計画の連携が高松市の特徴になりうる。

【委員】

フェイスブックの指標について、全体を網羅するようなサイトがあってもいいと思う。フェイスブックは若者離れもあり、大量の情報が流れていってしまうだけである。

【会長】

調べたい人が、どんどん調べられる環境があることはよい。

【委員】

高松市のサイトと分けてもいい。ユネスコに加盟する際の分野は決まっているのか。

【会長】

市民的に議論するよう助言している。

【委員】

子どもへの取組もいいが大人になって受けた経験も人生に影響している。私も、さぬき映画祭で映画を撮り始め、文章なんかも地方でも始められること。

【会長】

ユネスコ加盟のプロセスの中で、高松の目指す個性が共有されてもいい。取組に工夫は必要である。

【委員】

創造的資源については洗い出しが必要である。

【委員】

M I C E をきっかけに、民間でも横連携が出来れば良い。イベントで提供したものを喜んでもらうことで、自分たちの心が豊かになり、自分のまちに誇りを持つようになる。それが創造都市の最終着地点なのではないか。

【会長】

金沢は、毎年創造都市の国際シンポジウムを積み重ねた。現加盟都市は戦略的に招待して、友好を深め、推薦してもらおう。交流と合わせてワークショップなどもやってもいい。

他に意見がなければ、閉会とさせていただきます。

4 閉会

(事務局から、次回審議会予定等についての連絡事項を周知)